保健体育

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保体 002-72	A B 198	令和 6 年
4	大日本図書	大日本◆	保体 702	B 5 変形 196	令和 2 年
50	大修館書店	大修館◆	保体 050-72	A B 206	令和 6 年
224	Gakken	学 研◆	保体 224-72	A B 206	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「開拓精神」の伝統のもと、教科横断的な探究型学習を推進して生徒の幅広い知的好奇心に応える。また、日本の伝統文化理解教育と国際理解教育を推進して自己のアイデンティティ確立とダイバーシティ（多様性）尊重の精神を養い、「競争」と「協働」ができる創造的なグローバル人材を育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

二つの校舎の施設・設備の有効活用を図りながら、基礎的な体力・運動能力を高める。中学校では「武道」を学ぶ中で、礼儀作法を尊重し、我が国固有の文化としての伝統的な考え方を理解させるとともに、多様な種目選択等を取り入れる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするため、する・見る・支える・知るなどのスポーツとの関わり方やダイバーシティ（多様性）尊重の精神を養うため、共生の視点を扱っている箇所数を調査する。
- b 我が国固有の文化としての伝統的な考え方を理解させるため、日本の文化・伝統としてのスポーツや武道を扱っている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	b 日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数
東 書	89	3
大日本	97	10
大修館	62	4
学 研	44	5
平均値	73.0	5.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、する・見る・知る・支えるなどの関わり方などに触れている、記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数」については、日本の伝統・文化としてのスポーツ、日本発祥のスポーツ、日本の武道などに触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

生徒が広い視野と豊かな教養を身に付けることを目指し、小石川教養主義に基づき全ての教科・科目を偏りなく学ぶとともに、これを土台とした理数教育、国際理解教育、6年間を貫く探究活動、専門家による特別講演などの特色ある教育活動を通じて、自ら志を立て、自分が進む道を切り拓き、新しい文化を創り出すグローバルリーダーを育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) 豊かな体力を育てるとともに、社会においてもリーダーとして行動できる能力や態度を育成する。
- (2) 基本的な運動技能の習得に努める中で、積極的にチーム・スポーツを展開する。
- (3) 生徒が種目を選択する授業や、グループごとの課題学習を展開し、一人一人の主体的な学習活動を通じて、リーダーとしての資質や能力を高めるとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ能力や態度を育てる。
- (4) 健康や安全に対する理解を深めるとともに、自らの健康を適切に管理し、改善する能力や資質を育てるために、保健教育の工夫を図る。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 健康や安全に対する理解を深めるとともに、自らの健康を適切に管理し、改善する能力や資質を育てるために、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどに触れている箇所数を調査する。
- b 運動やスポーツとの多様な関わりを通して、生涯にわたってスポーツに親しむ能力や態度を育てるため、する・見る・支える・知るなどのスポーツとの関わり方や共生の視点を扱っている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	b 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数
東 書	363	89
大日本	332	97
大修館	415	62
学 研	206	44
平均値	329.0	73.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数」については、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどに触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、する・見る・知る・支えるなどの関わり方などに触れている、記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自律自修」の精神に基づき、真理と正義を愛し、広く深い教養を身に付け、心身ともに健康で明朗な生徒を育成する。中高一貫教育校として、6年間の指導計画や探究活動を通じて、高い学力を身に付けさせるとともに、豊かな言語能力と望ましい職業観、高い志と世界的視野をもった人間性豊かな生徒を育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) バasketボール・サッカー・ソフトボール等、集団的な球技を通し競技の楽しさを伝える。
- (2) 器械運動・陸上競技・水泳及び武道などを中心に、自己の基礎的な体力や運動能力の向上を目指す。
- (3) 施設・設備の効率的な活用により基礎的な体力・運動能力を高めるとともに、将来にわたりスポーツに親しみ、経験していく態度・技能・知識を身に付けさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 体力の向上について扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 社会生活の中から課題を見出し、思考・判断して、自らの健康を適切に管理し、改善する能力や資質を育てるために、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどに触れている箇所数を調査する。
- b 教育活動全体を通して、基礎的な体力や運動能力の向上を図るため、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどに触れている箇所数を調査する。

「別紙」【内容 調査研究】 両国高等学校附属中学校 保健体育

項目 発行者	a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	b 体力の向上について扱っている箇所数
東 書	363	16
大日本	332	39
大修館	415	21
学 研	206	20
平均値	329.0	24.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数」については、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「体力の向上について扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) 校内の充実した体育施設を有効に活用し、各種運動を発展的に展開していく。
- (2) 基礎的な体力や運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
- (3) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を管理し、改善していく資質や能力を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	中等教育学校基本計画検討委員会報告書 中高一貫教育校の整備に関する検討委員会の報告書 目黒地区中等教育学校特色ある教育活動について 目黒地区中等教育学校 教育課程 第1章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 運動の楽しさや喜びを味わい、ボランティアマインドの育成や障害者理解の推進を図るため、する・見る・支える・知るなどのスポーツとの関わり方や共生の視点を扱っている箇所数を調査する。
- b 我が国固有の文化としての伝統的な考え方を理解し、日本人としてのアイデンティティと自信をもち、国際社会に貢献できる力を育成するため、日本の文化・伝統としてのスポーツや武道を扱っている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	b 日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数
東 書	89	3
大日本	97	10
大修館	62	4
学 研	44	5
平均値	73.0	5.5

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、する・見る・知る・支えるなどの関わり方などに触れている、記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数」については、日本の伝統・文化としてのスポーツ、日本発祥のスポーツ、日本の武道などに触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」という教育目標を実現するために、Road to Global Citizen—Think Globally, Act Locally—を掲げ、特色あるプログラムを通じて日常から養える国際感覚と多様性をもつ生徒を育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) 体力の向上や健康の保持増進を図り、いろいろなスポーツに関心を持ち、社会においてもリーダーとして行動できる能力や態度を育成する。
- (2) 基礎的・基本的な運動技能の確実な習得を図るとともに、バランスのよい運動能力を身に付けさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	立川地区中高一貫6年制学校（国際中等教育学校）基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 健康や安全に対する理解を深めるとともに、獲得した知識を自らの健康と関連付けながら適切に管理し、改善する能力や資質を育てるために、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどに触れている箇所数を調査する。
- b 運動の楽しさや喜びを味わい、多様性を尊重しようとする態度を育成するため、する・見る・支える・知るなどのスポーツとの関わり方や共生の視点を扱っている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	b 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数
東 書	363	89
大日本	332	97
大修館	415	62
学 研	206	44
平均値	329.0	73.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数」については、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどに触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、する・見る・知る・支えるなどの関わり方などに触れている、記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「向上進取の精神」のもと、地球規模の課題を「自分ごと化」していく武蔵独自の探究活動である「地球学」を軸とし、中高6年間の一貫性を持った体系的なキャリア教育を通して、豊かな知性と感性を育て、健康な心と体を養い、一人一人の高い進路目標を確立し、実現することで、「国際社会に貢献する知性豊かなリーダー」を育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) 集団スポーツやグループ学習を通して人間関係の大切さを理解し、リーダーシップの育成を図る。
- (2) 自らの健康が、環境など多様な要素とのかかわりの中で成り立っていることを理解することにより、自らの健康を適切に管理し改善する能力を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 体力の向上について扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 健康や安全に対する理解を深めるとともに、自らの健康を適切に管理し、改善する能力や資質を育てるために、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどに触れている箇所数を調査する。
- b 健康な心と体を育み、基礎的な体力や運動能力の向上を図るため、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどに触れている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	b 体力の向上について扱っている箇所数
東 書	363	16
大日本	332	39
大修館	415	21
学 研	206	20
平均値	329.0	24.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数」については、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「体力の向上について扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「教養、調和、挑戦」を目標とし、自主自律、文武両道の精神の下、6年間一貫通貫した探究活動を中心とした教育活動を通じて理数的課題発見力・解決力を育成するとともに、新しい価値観と既存の価値観を調和させ、社会の課題を解決するために自己の限界に挑戦できる人間を育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) 発達段階に応じた課題解決型の学習、特に集団スポーツやグループでの学習を通して、生徒自身が創意工夫し計画的に学習していくことのできる能力を育てる。
 様々な運動経験や仲間との関わりによる学習を通して、生徒の自主性や協調性及び社会性を養い、リーダーとして活躍できる人材を育成する。また、生徒全員に武道を経験させることによって、礼儀作法などを通して自己を律し相手を尊重する態度を養い、品位ある人間の育成を図る。
- (2) 自らの健康が、様々な要素との関わりの中で成り立っていることを理解し、生涯にわたり健やかに生きていくための正しい知識と適切な意思決定及び行動選択の力を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 体力の向上について扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 我が国固有の文化としての伝統的な考え方を理解させ、礼儀作法などを通して自己を律し相手を尊重する態度を養い、品位ある人間の育成を図るため、日本の文化・伝統としてのスポーツや武道を扱っている箇所数を調査する。
- b 心身の健康と自己の挑戦を支える基礎的な体力や運動能力の向上を図るため、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどに触れている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数	b 体力の向上について扱っている箇所数
東 書	3	16
大日本	10	39
大修館	4	21
学 研	5	20
平均値	5.5	24.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「日本固有の伝統や文化、武道の考え方を扱っている箇所数」については、日本の伝統・文化としてのスポーツ、日本発祥のスポーツ、日本の武道などに触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「体力の向上について扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどに触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自主・自律・創造」を教育目標に、6年間の系統性とゆとりある中高一貫教育の中で、物事の真理を深く考え、筋道を立てて明らかにする探究活動等を通して、夢の発見と実現に向けたきめ細かな教育の実践により、国際社会で活躍する多様な人間力を育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) 基礎体力の向上を第一に掲げ、健全な体と健全な心を培う。
- (2) 「体づくり運動」等、体力を高めることを意識させる身体活動を多く取り入れる。生徒の発達段階と一人一人の能力に配慮し、基礎的な体力や運動能力を高めるとともに、運動の特性に触れる楽しさを味わい、体を動かすことの楽しさを学ぶ機会を多く設ける。こうした体験を通して、体力の向上を図り、社会性や協調性等を身に付けさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 体力の向上について扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 探究的な学びやアクティブラーニングを推進し、生徒が主体的に自らの健康を適切に管理し、改善する能力や資質を育てるために、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどに触れている箇所数を調査する。
- b 日常的な運動習慣を身に付け、基礎的な体力や運動能力の向上を図るため、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどに触れている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数	b 体力の向上について扱っている箇所数
東 書	363	16
大日本	332	39
大修館	415	21
学 研	206	20
平均値	329.0	24.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「学習したことを実生活や実社会に生かすことを扱っている箇所数」については、学習したことをどのように、どのような場面で生かしているかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「体力の向上について扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

心・知・体のバランスのとれた生徒を育てるため教養教育を推進し、学力・突破力・協働能力・探究力の育成を図り人間力を育む。フィールドワーク等特色ある教育活動により、6年間を通して“確かな学力”を身に付けさせる。新たな価値を創造し、主体性をもって国際社会の様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

6年間の継続した指導を通して、生涯にわたって運動に親しむ習慣、健康を適切に管理し改善する能力及び協調性や社会性を養い、人間力の基礎である健やかな体を育成する。

- (1) 健康や安全、運動に関する基礎知識を身に付けさせるとともに、生徒の発達段階や能力に応じて、様々な種目を行う中で運動能力を高め、運動の楽しさを知らしめる。
- (2) (1)の運動に加えて各種の種目を経験させ、自ら積極的に授業に参加する態度を養うとともに、健康や安全に対する理解を深めさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 体力の向上について扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 運動の楽しさや喜びを味わい、ボランティアマインド、豊かな国際感覚、障害者理解等の一層の醸成を図るため、する・見る・支える・知るなどのスポーツとの関わり方や共生の視点を扱っている箇所数を調査する。
- b 基礎的な体力や運動能力の向上を図るため、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどに触れている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	b 体力の向上について扱っている箇所数
東 書	89	16
大日本	97	39
大修館	62	21
学 研	44	20
平均値	73.0	24.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、する・見る・知る・支えるなどの関わり方などに触れている、記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「体力の向上について扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
4冊	東書、大日本、大修館、学研

2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

思いやりの心を持った社会的なリーダーの育成を目標に、互いの基本的人権を尊重し、豊かな人間性と高い見識、幅広い視野を培い、自立と共生の精神を養う。6年間の体系的な教育課程、発達段階に応じた体験的な学習、異年齢集団による特別活動や地域連携、国際理解教育といった教育活動を通じて、世界にはばたく社会的リーダーを育成する。

【保健体育における学習指導の展開】

- (1) 生徒の発達段階と個々の能力に応じて、運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、基礎的な体力や運動能力を高めながら、保健体育の学習全体を通じて、体力の向上や健康の保持増進を図る。集団スポーツやグループ学習を通して、人間関係の大切さを理解し、リーダーとしての資質の育成を図る。
- (2) 運動の楽しさや喜びを味わせるとともに、基礎的・基本的な運動技能の確実な習得を図り、バランスの良い運動能力と運動を進んで行う態度を育成する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 体力の向上について扱っている箇所数	同上	箇所

※調査研究項目を設定した理由

- a 他者との関わりを大切にし、共生社会の実現を目指すことができるようにするため、する・見る・支える・知るなどのスポーツとの関わり方や共生の視点を扱っている箇所数を調査する。
- b 基礎的な体力や運動能力の向上を図るため、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどに触れている箇所数を調査する。

項目 発行者	a 運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数	b 体力の向上について扱っている箇所数
東 書	89	16
大日本	97	39
大修館	62	21
学 研	44	20
平均値	73.0	24.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「運動やスポーツとの多様な関わり方や共生の視点を扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、する・見る・知る・支えるなどの関わり方などに触れている、記述や図、写真などの箇所数を数えている。
- b 「体力の向上について扱っている箇所数」については、運動やスポーツを通して、どのようにすれば体力が向上するかなどを触れている記述や図、写真などの箇所数を数えている。